

定例記者会見資料



○日 時	平成24年8月8日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・内閣府国際青年育成交流事業壮行会の開催について……………【資料1】・島根県立大学「就喝合宿」の実施について……………【資料2】・島根県立大学産業コンテスト最優秀賞の実現に向けた取り組みについて…【資料3】 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・いずもサマースクール(SS)2012の実施について……………【資料4】・地域の病院と連携した実践的な看護教育について……………【資料5】・浜田市弥栄町における地域包括ケア学習について……………【資料6】
○資料提供項目	<p>【全キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none">・「島根県災害ボランティア隊」への学生の参加について……………【資料7】 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・ロシア海洋国立大学生訪問団の来学について……………【資料8】・寧夏大学外国語学院日本語学科訪問団の来学について……………【資料9】・平成24年度秋学期科目等履修生・聴講生の募集について……………【資料10】 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年度後期科目等履修生・聴講生の募集について……………【資料11】
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



マスコットキャラクター「オロリン」です。

平成 24 年 8 月 8 日
島根県立大学 浜田キャンパス
キャリア支援室
担当者：坂田 栄一郎
TEL：0855-24-2202

内閣府国際青年育成交流事業壮行会の開催について

平成 24 年度内閣府国際青年育成交流事業に本学より参加する 4 名に対し、壮行会を実施し助成金の授与を行います。

内閣府の国際青年育成交流事業は、青年相互の理解と友好を促進するとともに、青年の国際的視野を広めて国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的としています。本学としては、グローバル社会に対応した人材育成を目的に、積極的に派遣事業に取り組んでいるところです。

- 日時 平成 24 年 9 月 4 日（火）12:40～13:00
- 場所 島根県立大学 特別応接室
- 内容
 1. 学長から激励の言葉
 2. 助成金授与
 3. 参加学生の決意表明
- 対象学生（4 名）
 - ・ 山野恵実（4 年） …日本中国青年親善交流
 - ・ 山口真澄（3 年） …日本中国青年親善交流
 - ・ 石川世菜（3 年） …日本韓国青年親善交流
 - ・ 坂本 出（3 年） …日本韓国青年親善交流
- 国際交流事業派遣支援助成金について
学生の負担を軽減するために参加費の助成を行います

平成 24 年 8 月 8 日
島根県立大学 浜田キャンパス
〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
TEL : 0855-24-2202 FAX : 0855-24-2387
Mail : career_all@u-shimane.ac.jp
キャリア支援室 坂田・柳井・兒玉

島根県立大学「就喝合宿」の実施について

就職活動を控えた本学浜田キャンパス 3 年生が、夏季休業期間を利用し短期集中的に企業訪問を行う「就喝合宿（東京・大阪・島根コース）」を下記のとおり実施します。

平成 18 年から始まり、夏の恒例行事となったこの合宿では、秋以降に本格化する就職活動に先だって、業界を代表する企業、卒業生のいる企業を訪問します。

企業研究・業界研究に資することはもちろん、経営者や先輩社員と間近に接することによる就労イメージの明確化、合宿生活やグループワークを通じた協働意識の醸成とコミュニケーション能力の向上等を図ります。そして、自らの人生観・職業観を見つめ直し、厳しい就職活動や社会人生活に対する意識改革を促します。

記

1. 日程等

①東京コース

日程：平成 24 年 8 月 20 日（月）～24 日（金）

訪問企業数：8 社（製造・情報通信・運輸・金融）

参加学生：23 名

②大阪コース

日程：平成 24 年 8 月 28 日（火）～31 日（金）

訪問企業数：6 社（製造・運輸・小売）

参加学生：11 名

③島根コース

日程：平成 24 年 9 月 5 日（水）～7 日（金）

訪問企業数：6 社（製造・情報通信・小売・金融）

参加学生：21 名

2. 訪問企業先での研修内容

業界及び企業事業説明、社員と学生との意見交換、会社見学など

3. その他

OBOG 激励会、他大学学生との交流会、外部講師による講義、グループワーク、筆記対策など

資料提供：平成 24 年 8 月 8 日
 担当：浜田キャンパス
 交流研究課（地域連携推進室）岡崎
 TEL 0855-24-2396

島根県立大学産業コンテスト最優秀賞プラン 「はまだ・絵本」作製について

石央商工会主催で実施された島根県立大学産業コンテスト「MAKE DREAM 2011(別紙 1 参照)」で最優秀賞を受賞した「はまだ・絵本」～ご当地絵本活性化事業：学部 4 年 玉木さくら(別紙 2 参照)～について、「はまだ・絵本」の作製に取り組んでいます。

このコンテストは、本学生に自らのアイデアを発表する場を与えるとともに、地域の企業に企業発展のヒントを提供し地域活性化を目指したものであったが、学生自身が絵本作製に向け動き始めたことをきっかけに、同商工会、浜田市役所、および石州半紙技術者会・石州和紙協同組合の支援を得て、実現に一步近づきました。

「はまだ・絵本」は、地域資源を活用することをテーマに学生目線で地域特性を見抜き発信していくものであり、制作中の絵本を通じて、子どもたちが自分の地域に誇りを持つこと、観光資源の一つとして認知してもらえること、昔ながらの伝統的技術・技法を有しユネスコ無形文化遺産となった職人がいる地域であること等を表現(別紙 3 参照)できるよう取り組んでいます。

記

1. 作製に向けたスケジュール

平成 24 年 7 月	石州和紙事業者定例会参加、学生による趣旨説明
8 月～9 月	和紙漉き職人(4 事業者)への取材・ヒアリングを実施し、和紙漉きに懸ける想いを聴取する <8/9(木)> 10 時～ 西田和紙工房 西田誠吉様 11 時～ 石州和紙久保田 久保田彰様 13 時～ かわひら 川平正男様 14 時～ 西田製紙所 西田 裕様
10 月～12 月	絵本の内容の具現化、文章・イラスト作成
平成 25 年 1 月～2 月	製本
3 月	市内の小学校・特別支援学校、老人ホーム、図書館など公共施設に寄贈し、作製に携わった学生が読み聞かせ活動を実施

～以降(案)～

- ・平成 25 年夏竣工予定の浜田市立中央図書館内での読み聞かせ活動
- ・浜田市三隅町と石州和紙を通じて国際友好を進めるブータン王国への絵本寄贈

2. 問い合わせ

石央商工会旭支所 服部様 (0855-45-0056)

島根県立大学産業コンテスト「MAKE DREAM 2011」について

1. 主催

石中央商工会

2. 趣旨

浜田市には、魅力ある地域資源（中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律(平成19年6月1日法律第70号)がたくさんありますが、知られていない地域資源も多い。

浜田に生活し豊かな創造性を有する島根県立大学の学生が、新たな視点で浜田の地域資源を捉え直し、地域資源を活用した新たなビジネスプランを発表する『MAKE DREAM 2011』を実施し、「今」あるものを大切に「これから」の時代に合った新産業や新事業の創出を提案する。

島根県立大学（浜田キャンパス）の学生に自らのアイデアを発表する場を与えるとともに、地域の企業に企業発展のヒントを提供し地域活性化を目指す。

3. ビジネスプランのテーマ

浜田の地域資源を活用したビジネスプランで、以下のいずれかに該当するもの。

- (1) 自ら考案したもの
- (2) 既存の事業にオリジナル性を加えたもの

4. 審査基準

書類審査を含め審査については、独創性、市場性・採算性、熱意、実現可能性、知識・能力、計画性、地域貢献性等について総合的に評価する。

5. 最終プレゼン発表会

平成24年1月20日(金) 島根県立大学交流センターコンベンションホール

6. 審査結果

氏名	学年(当時)	発表テーマ
新宮央江さん・奥原美穂さん	3年	浜 Madam ネット (はまだむねっと) ～主婦のネットワークを活かした浜田の食品関連企業の首都圏への販路開拓支援～
山田佳奈さん	3年	大人も集合！！ こども美術館
長澤亮さん (優秀賞)	3年	浜田の海にサザエ採りに行こう♪～サザエBBQツアー
玉木さくらさん (最優秀賞)	3年	「はまだ・絵本」～ご当地絵本活性化事業～
高橋和之さん・吉岡莉奈さん	1年	銀天街空き店舗を利用した学生スタッフによる多機能喫茶店プロジェクト
幸野裕香さん (優秀賞)	3年	どんどん飛んでけ！！ どんちっち号！！

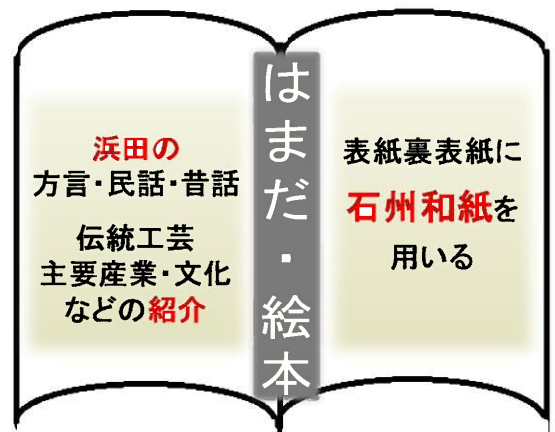
「はまだ・絵本」～ご当地絵本活性化事業について

1. ビジネスプランへの想い

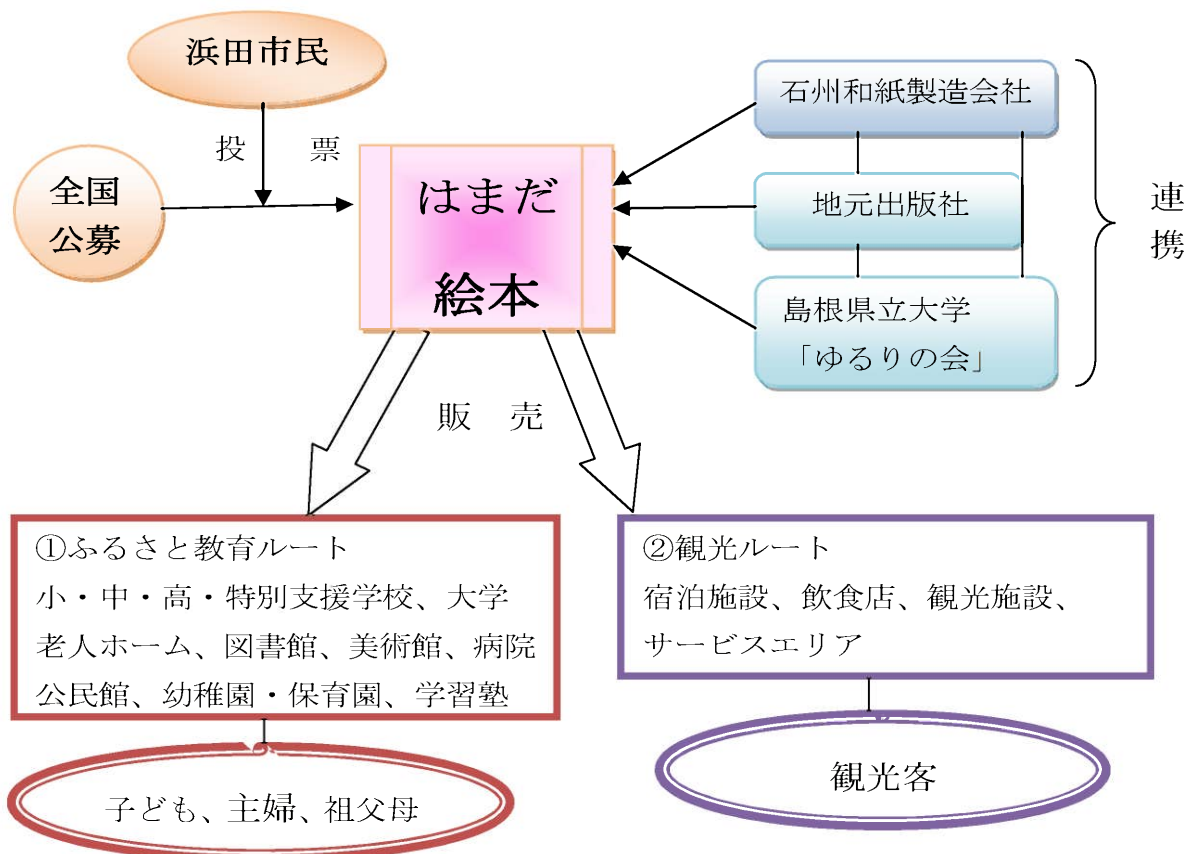
地域活性化の課題として、①地域住民が地域への愛着をもつこと、②地域情報を上手く発信する方法が少ないことに着目し改善を試みる。

2. 「読み聞かせ」という切り口

玉木さくら自身、それまで絵本の読み聞かせ活動に積極的に取り組んできたことから、当学内にボランティアサークル「ゆるりの会（代表:岩田光彩(学部2年)、顧問:久保田典男講師)」を創設させた経緯があり、この読み聞かせ(情報発信)を活用し、主要対象者である子供や、その保護者等に、ふるさと教育の一貫として地域への愛着UPを定着させようとしている。



3. ビジネスプランの全体像



「はまだ・絵本」の作製コンセプトについて

1. 今回の題材は「石州和紙」

多くの地域資源の中から、玉木さくら自身がゼミ活動で訪問し、実際に紙漉き体験等をした石州和紙会館(三隅町)の「石州和紙」を題材として選別した。

以降も、関係各機関の協力を得ながら、「ゆるりの会」で題材を決定し、継続的に「はまだ・絵本」を作製する。

2. シナリオ (案)

- ・ 主人公は「石州和紙」の工程を経て、できあがる製品たち。
- ・ もとは同じ“こうぞ”や“みつまた”だが、和紙漉き職人の手を経て、半紙、画仙紙、賞状用紙、封筒、便箋、名刺、色紙に形を変え、あるものは衣服として、さらにはランプシェード等として扱われるものさえある。
- ・ 例えば、子供たちの習字の練習用紙のように黒く塗り潰され、クチャクチャに丸められて捨てられ一生を終えるものもあれば、有名芸術家の作品用画仙紙として外国の一流美術館の特等席に飾られ華やかな生涯を過ごすものもある。
- ・ でも、もとは同じ1本の木から採れた原材料。
- ・ 日本だけでなく、世界各地で活躍している「石州和紙」の兄弟達。
- ・ 浜田の地域資源「石州和紙」は、このような活躍をしている！



(シナリオイメージ)

3. 玉木さくらの想い

- ・ 考えたプランを、現実のものとして作製できることは楽しい。
- ・ 多くの方に読み聞かせを実施し、浜田の良いところをPRしていきたい。

平成24年 8月 8日
島根県立大学出雲キャンパス
看護学部 准教授 高橋恵美子
電話0853-20-0200 (代)

いずもサマースクール(SS)2012 の実施について

1. 目的・理由

過去6年間において特別支援教育を受けている児童は毎年約1万人の増加となっている。(文部科学省、特別支援教育資料)出雲市においても、同様の傾向が見られている。発達障がいについては、徐々にその障がいについて知られるようになってはきているが、身体障がいや知的障がいと違い、見た目にはわかりにくいこと、障がいの程度によってはしつけの悪さとして誤解されることもあり、まだ十分に認知されていない。

発達障がいのうち、ADHD(注意欠如多動性障害)の原因は、今までの沢山の研究にもかかわらず、未だによくわかっていないが、脳神経の伝達物質の不均衡が影響していると考えられている。また、ADHDの子どもの脳は、脳の発達が約3年の遅れがあると指摘されている。最近、ADHDの子どもに対する心理社会的治療と薬物治療を併用した包括的治療の有効性と必要性が報告されており、米国で夏期治療プログラム(Summer Treatment Program:STP)が確立されて、STPの有効性についての知見が集まりつつある。

STPは、行動療法であり、ADHD児の学校適応力の育成が目的であり、①問題解決スキル、②ソーシャルスキル、③学習スキル、④社会規範を守るスキルなどの向上を図っていく。これらのスキルが向上することで、子どもたちの学校生活が過ごしやすくなるものとなり、自分への自信や自尊感情がはぐくまれることにもつながる。

わが国においても、2005年に久留米市において日本で初めてのSTP(第1回久留米STP)が開催され、既に7年が経過して、多くの有効な結果を出している。そこで、この方法を若干アレンジして取り入れたのが、いずもSSであり、久留米STPの指導者のもと、これまでの2年間に8名の児童を送り出してきた。いずもSSは出雲市立第一中学校とその校区内小学校の教員が中心となり実施し、その他にボランティアとして市役所保健師、島根大学大学院心理学専攻の学生、本学看護学生の参加があり、医療、教育、行政が連携しながら試行してきている。

昨年までの2回は試行であったが、今年は3回目の開催となり、いよいよ本格的な実施となる。

2. 開催日時

2012年8月20日(月)～24日(金) 8:55～16:20

3. 会場

島根県立大学出雲キャンパス 2号館1階(出雲市西林木町151)

4. 主催者

いずもSS実行委員会 実行委員長:山下一也(島根県立大学出雲キャンパス副学長)

5. 内容

ちらしを参照

(1)STPの実施は久留米STPに続いてわが国で2番目の実施である。

(2)本学では小児看護の分野において、「発達障がいと看護」という科目を看護学部開設にあわせて新設しており、今後の看護師教育においても重要な柱として位置づけている。

6. 参加人数

(1)出雲市内のADHDと診断されている児童 約10名

(2)スタッフ:島根県立大学出雲キャンパス、出雲市内の小中学校の教職員、看護学科の大学生、医師、看護師等 50名

7. 取材申込み

取材希望がある時は、事前に島根県立大学出雲キャンパス 高橋恵美子、石原香織または小村智子まで連絡をお願いします。

いずもサマースクール2012のご案内



人の話を聞いたり、何かに集中したり、
ルールを守ったり、スポーツをしたり、友
だちをつくったりすることが苦手な子ども
たちのためのサマースクールです。

スクールの中では行動療法をとりいれ、
スポーツや学習、創作などの活動を通して、
集中力や友だちと仲良くする力を高めてい
きます。スタッフは現役の大学生や小中学
校の教員がサポートします。

参加についてのお問い合わせは、下記ま
でご連絡下さい。

1日のスケジュール

登校
朝の会
スポーツの練習
(サッカー)
学習
昼食 昼休み
スポーツの試合
(サッカー)
創作活動
自由時間
下校



期 間：平成24年8月20日(月)～24日(金) 連続5日間

時 間：8:55～16:20

会 場：島根県立大学 出雲キャンパス (出雲市西林木町)

募集人数：10名程度

参加費：教材費・保険料等 3000円程度

問い合わせ・申し込み先：

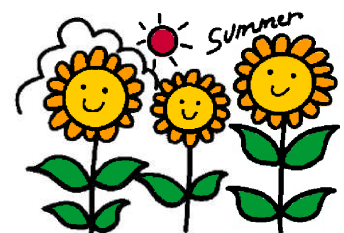
島根県立大学 出雲キャンパス 高橋恵美子

TEL 0853-20-0247

主 催：いずもSS実行委員会

島根県立大学出雲キャンパス 出雲市立第一中学校

出雲市立今市小学校 出雲市立大津小学校 出雲市立上津小学校



平成24年8月8日
島根県立大学出雲キャンパス
看護学科 准教授 松本玄智江
電話 0853-20-0200(代)

地域の病院と連携した実践的な看護教育について
—川本町において実施—

1. 目的

- 1) 基礎看護特論において学習した内容を踏まえて、看護実践の現場におけるケアの実際について学ぶ。
- 2) 臨床現場の看護職と意見交換することでケアについての理解を深める。

2. 期間

平成24年8月20日(月)～22日(水)9:00～16:00

3. 参加者

島根県立大学短期大学部看護学科3年次生3名及び教員1名

4. 学習の場所

邑智郡川本町川本383-1 社会医療法人仁寿会 加藤病院及び関連施設

5. 学習内容

- 8/20 オリエンテーション、看護特論での学びの発表、施設見学、各部署での研修
- 8/21 各部署での研修
- 8/22 各部署での研修、学びの整理、意見交換会

6. 今回の特徴など

- 1) 3年次生履修科目「基礎看護学特論」では、看護の現場で広く行われている看護ケア(看護技術)に注目し、その技術の発展過程並びに今日的課題を踏まえ具体的な方法論について学ぶことにしている。
- 2) 看護技術に関する授業での学びと、臨床現場で行われている実際のケアを結びつけて体験的に学ぶことによって、看護者として患者によりよいケアを提供するために必要な能力について考える機会とする。
- 3) 様々な看護ケアの提供の場を持つ加藤病院並びに関連施設で研修をすることで、1つの看護ケアが、看護の場や状況に合わせて変化させながら実施されていることを体験的に学ばせる。
- 4) 臨床現場の看護職と意見交換をすることで、専門職としてどのようにキャリア形成して行くかということについて考える機会とする。

7. 取材申込み

取材希望がある時は、事前に島根県立大学出雲キャンパス 松本准教授まで連絡をお願いします。

24年8月8日

島根県立大学出雲キャンパス
看護学科 准教授 伊藤智子
電話 0853-20-0200(代)

中山間地域包括ケアに関する滞在型学習について ー浜田市弥栄町において実施ー

1. 目的

看護学生が中山間地域の診療活動や健康づくり活動に参加することで高齢者の生活背景を踏まえた医療・看護の重要性や高齢者の暮らしを支えるケアについて学ぶ。

2. 期間 平成24年9月4日(火)～9月7日(金)

3. 参加者

島根県立大学短期大学部看護学科3年次生12名及び教員4名

4. 学習の場所

- 1) 浜田市弥栄支所
- 2) 浜田市国民健康保険弥栄診療所
- 3) 弥栄町内集落(程原集落・田野原集落 他)
- 4) 弥栄ふるさと体験村 ほか

5. 学習内容

弥栄町に滞在して、浜田市弥栄支所及び中山間地域包括ケア研修センター(弥栄診療所内)等と連携して、家庭訪問や健康相談への参加、診療所実習等を行う。

6. これまでの経緯

本学看護学科の3年次生履修科目「看護特論(老年看護学)」では、少子高齢化が進む島根県の中山間地域における高齢者の暮らしを通して、今後求められる看護について学ぶこととしている。

平成21年度から取り組んでおり、弥栄診療所及び浜田市弥栄支所の保健医療福祉教育関係のスタッフの協力により、滞在型学習を実施している。中山間地域に求められる看護活動に対する学生の関心を高めることを目的とした企画である。

7. 取材申込み

取材希望がある時は、事前に島根県立大学出雲キャンパス 伊藤准教授まで連絡をお願いします。

平成 24 年 8 月 8 日
公立大学法人島根県立大学
担当：総務課 穴戸
(電話：0855-24-2200)
交流研究課 岡崎
(電話：0855-24-2396)

「島根県災害ボランティア隊」への学生の参加について

社会福祉法人島根県社会福祉協議会が「いわて GINGA-NET」と連携して実施する「島根県災害ボランティア隊」に島根県立大学生が参加するにあたって、出発式を下記のとおり行います。

記

1. 日時 第 1 クール 平成 24 年 8 月 21 日 (火) 16:45~
第 2 クール 平成 24 年 9 月 4 日 (火) 16:45~
2. 場所 島根県立大学 本部棟玄関前
3. 参加学生 (出発式は浜田キャンパスの学生のみ参加します。)
第 1 クール 12 名 (浜田 4 人・出雲 6 人・松江 2 人)
第 2 クール 18 名 (浜田 8 人・出雲 9 人・松江 1 人)
4. 出発式次第
 - (1) 開式
 - (2) 学長激励の言葉
 - (3) 参加学生代表者のあいさつ
 - (4) 閉式 ※写真撮影

【参考】

島根県社会福祉協議会募集の「島根県災害ボランティア隊」については、別添資料を参考にしてください。

東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」募集要項

1 趣 旨

島根県社会福祉協議会（以下「本会」といいます。）では、東日本大震災発災後17回にわたり「島根県災害ボランティア隊」を編成し延べ422名の県民を宮城県及び岩手県内の被災市町へ派遣してきました。

被災地では復興への兆しも見られるもの今なお、多くの方が応急仮設住宅での生活を余儀なくされるなど、長期にわたる様々なボランティア支援が求められています。

一方、県内では、この未曾有の大災害に対して力になりたいという大学生等が数多くおり、大学等も夏季休暇に向けて、学生のボランティア活動を応援しようという機運が高まっています。

こうした被災地の要支援ニーズと大学生等のボランティアニーズをつなぐため、「いわてGINGA-NET※」との連携のもと、県内に居住する大学生等によるボランティア隊を編成し、岩手県内の被災市町に派遣します。

※「いわてGINGA-NET」

○平成23年11月に岩手県立大学の学生有志を中心に発足したNPOで「学生による沿岸部への継続的な支援」をめざして活動を開始した。

○岩手県内の市町社会福祉協議会との連携のもとに集約した現地ボランティアニーズから、学生にふさわしいボランティア活動を提供する。

2 活動地域

岩手県内の被災市町（大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町ほか）

3 活動期間・行程

○第1クール 平成24年 8月21日（火）～ 8月28日（火）

○第2クール 平成24年 9月 4日（火）～ 9月11日（火）

第1日（火）	17:00	浜田市内発 ～大型バスで移動（車中泊）～
	19:00	（経由） 出雲市内発
	20:00	（経由） 松江市内発
第2日（水）	15:00	岩手県住田町（GINGA-NET住田基地）着
	15:00～15:30	オリエンテーション（施設利用・日程説明）
	15:30～20:00	沿岸部視察、活動地域下見
	20:00～	オリエンテーション（翌日の活動準備等）
第3日（木）	8:30～16:00	ボランティア活動
	16:00～19:30	宿舎へ移動（入浴施設・コンビニ）
	19:30～	宿舎着（食事・活動の振り返り・翌日の活動準備等）
第4日（金）		※第3日と同様
第5日（土）		※第3日と同様
第6日（日）		※第3日と同様
第7日（月）	9:00～11:00	期間中の活動振り返り・まとめ
	12:00～	住田町出発 ～大型バスで移動（車中泊）～
第8日（火）	6:00	（経由） 松江市内着
	7:00	（経由） 出雲市内着
	9:00	浜田市内着

*行程は変更になる場合があります。

4 活動内容

「いわてGINGA-NET」が準備したボランティア活動

(主な活動：応急仮設住宅でのサロン活動、子どもの学習支援など)

※長期の活動になることから、体調が悪い方、体力に自信のない方はお申し込みをお控えください。

5 募集人員【島根県に在住する大学生又は専門学校生】

○第1クール 平成24年 8月21日(火)～ 8月28日(火)・・・募集人員25名

○第2クール 平成24年 9月 4日(火)～ 9月11日(火)・・・募集人員25名

※原則として参加申込順とします。

※希望者多数の場合は調整をさせていただきます。

6 参加費

20,000円

[上記代金に含まれるもの]

○食事代：2日目の夕食、3日目から6日目までの朝昼夕食、7日目の朝食

○入浴代：2日目から6日目まで5日分

○宿泊費：2日目から6日目まで5日分

7 服装・持参品

[持参いただきたいもの]

- ・ 1週間分の着替え(現地で洗濯はできません) ・ 宿泊施設で着る着替え(ジャージ等)
- ・ 長袖など羽織れるもの(夜間は涼しいので上に羽織れるものを1枚程度持参)
- ・ 寝袋(寝具類は各自でご持参ください) ・ タオル、バスタオル、衛生用品、風呂用品
- ・ リュックサックなど活動日に移動する際のバッグ ・ ノート、ペンなどの筆記用具
- ・ ハンガー、洗濯バサミ(タオル、バスタオル類を干す用) ・ 懐中電灯 ・ 雨具(傘、カッパ等)
- ・ 水筒 ・ マスク(被災地での粉塵対策用。コンビニで手に入るもので可)
- ・ 電源タップ(携帯電話等の充電の場合) ・ 健康保険証

[その他(個々人で必要であれば)]

- ・ 貴重品を身に着けるための、小さなウェストポーチやポシェットなど
- ・ 軽食(現地到着後に食事は支給されますが、お好きな嗜好品など)
- ・ 常備薬(基本的なものは、GINGA-NET側で用意されています)
- ・ 暑さ対策品(冷えるマフラーや塩分+カリウム、保冷水筒等)
- ・ まくら(必要であれば) ・ 耳栓(就寝時に音が気になる方)
- ・ 日焼けが気になる方は、日焼け対策(日焼け止め、帽子等)
- ・ ビタミン、サプリなど(必要であれば)

[ご持参いただかなくてよいもの]

- ・ 長靴 ・ 軍手、ゴム手袋 ・ ゴーグル
- ※泥かきや家屋整理の活動はしませんので、長靴などは不要です。

8 保険加入

参加者には、ボランティア活動保険に加入していただきます。保険加入料は本会で負担します。

9 留意事項

- (1) 現地の受入方針の変更等により、派遣を中止する場合があります。
- (2) 自己責任・自己完結を原則とし、被災地に負担をかけないようにするとともに、被災された方の心情に配慮した言動、行動に心がけてください。
- (3) 雨天・余震等の関係で、やむを得ず活動が中止になる場合があります。
- (4) 初日と最終日は、バスの中で車中泊となります。移動中の食事は、高速道路のサービスエリアが利用できます。

10 宿泊施設等

宿泊場所：旧下有住小学校校舎（〒029-2502 岩手県気仙郡住田町下有住中上51-1）

入浴施設：住田町（遊林ランド種山）ほか

11 参加申込み、問い合わせ先

別紙参加申込書に必要事項を明記の上、郵送、電子メール又はファクシミリでお申し込みください。（別途同意書も郵送してください。）

<申込期限> 平成24年7月20日（金）※申込用紙必着

社会福祉法人島根県社会福祉協議会（島根県ボランティア活動振興センター） 〒690-0011 島根県松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根 （電話）0852-32-5997 （FAX）0852-32-5982 *電話での対応は、土日祝を除く午前8時30分から午後5時まで （メール）voc@fukushi-shimane.or.jp

資料提供：平成 24 年 8 月 8 日

担当：浜田キャンパス

交流研究課 佐草利博

TEL 0855-24-2201

ロシア海洋国立大学訪問団の来学について

本学と、交流協定を締結している、ロシア海洋国立大学訪問団（学生 10 名・引率 2 名）が来学します。

17 日（金）午前中に本学に到着し、学長表敬、本学学生と日本文化体験、浜田市内の観光をしたりしながら交流を深める予定です。

記

- 1 訪問日 平成 24 年 8 月 17 日（金）
- 2 交流等概要 10:00 本学到着（予定）
10:30 書道体験 <交流センター 作法室>
11:30 学長表敬
13:30 紙すき体験 <和紙会館>
16:00 アクアス見学
20:00 夜神楽鑑賞 <石中央文化ホール>
- 3 訪問団・全体日程 別紙のとおり
- 4 主催・受入団体 日露青年交流センター（連絡先：03-3509-6001）

ロシア海洋国立大学の概要

- 正式名称は「ネヴェリスコイ提督記念海洋国立大学」。サハリンが島であることを証明したネヴェリスコイ提督にちなみ名付けられたロシア沿海地区ウラジオストクに位置する国立大学。サハリン州およびアムール州に支部を持つ。
- 創立年：1890 年
- 学生数：約 5,000 名
- 学部数：16（船舶操縦、船舶機械、海運操縦、経済・経営など）

本学とは平成 22（2010）年 8 月に交流協定を締結。

ロシア海洋国立大学 訪問団名簿

	姓 名	性別	所 属
1	ガマノフ ウラジミール	男	海洋アカデミー所長（団長）
2	シャドリナ アリョーナ	女	海洋アカデミー儀典・協力部主任専門員兼東洋言語学科上級講師
3	ブリガノフ ロマン	男	海洋アカデミー船舶機械工学部学生
4	ニューバチエスラフ	男	"
5	エゴロフ グレゴ	男	"
6	アンドレイフ エフゲニー	男	"
7	タロヴィク アンドレイ	男	"
8	ニキフォロヴァ ユリヤ	女	国際教育学部学生
9	チエルヌイシェヴァ リナ	女	"
10	ゲラシモヴァ ナタリア	女	"
11	スストフ オレグ	男	"
12	ソリナ アンナ	女	"

全 体 日 程 概 要

月 日	曜日	時間	行動予定	宿泊予定先
8月14日	火	午後	成田空港 着 都内視察	東京都内
8月15日	水	終日	都内視察	東京都内
8月16日	木	午後	浜田着 浜田市長表敬	浜田市内
8月17日	金	午前 午後	大学着、日本文化体験 学長表敬 浜田市内視察 石見神楽鑑賞	浜田市内
8月18日	土	終日	(移動:浜田市→松江市) 島根県内視察(出雲大社ほか)	松江市内
8月19日	日	午前 午後	出雲空港発 都内視察	東京都内
8月20日	月	終日	東京海洋大学訪問ほか	東京都内
8月21日	火	午前 午後	都内視察 成田空港 発	

資料提供：平成 24 年 8 月 8 日

担当：浜田キャンパス

交流研究課 佐草

TEL 0855-24-2201

寧夏大学外国語学院日本語学科訪問団の来学について

本学と、交流協定を締結している、中国の寧夏（ねいか）大学外国語学院日本語学科訪問団（学生 17 名・引率 1 名）が来学し、学長表敬と学生交流を行います。

本学訪問は、昨年につき平成 17（2005）年以来、通算 7 回目となります。

27 日（月）、昼頃本学に到着し、学長表敬、本学学生約 10 名とともに浜田市内の観光地を散策したり、浜田市長表敬のあと、食事をしたりしながら交流を深める予定です。同日夜は、本学の交流センターに宿泊します。

記

- 1 訪問日 平成 24 年 8 月 27 日（月）～28 日（火）
- 2 交流等概要 12:00 本学到着（予定）
14:00 浜田市内視察 <豊ヶ浦ほか>
17:00 市長表敬
18:00 夕食会
- 3 訪問団・全体日程 別紙のとおり
- 4 主催・受入団体 日本寧夏友好交流協会（連絡先：070-5057-5442）

寧夏大学の概要

- 寧夏回族自治区に位置する、国家重点大学の一つ。
- 創立年：1958 年
- 学生数：約 30,000 名
- 学部数：23 学部（人文、政治法律学、外国語学、経済管理学、化学、生命科学、農学、教育科学等）

本学とは、平成 16（2004）年 10 月に交流協定を締結。2002 年から毎年の寧夏回族自治区出身学生（多くは寧夏大学出身者）を受け入れ、現在 5 名が在籍（学部生 3 名・大学院生 2 名）している。

寧夏大学外国語学院日本語学科 訪問団名簿

姓名	フリガナ	性別	所属	備考
唐 玲	トウ レイ	女	寧夏大学外国語学院	副院長(引率者)
馬 世華	マ セイカ	女	寧夏大学外国語学院 日本語学科 3年生	学生
鄭 曉丹	テイ ギョウタン	女	"	"
李 德	リ トク	男	"	"
陳 昕	チン キン	女	"	"
李 慧娟	リ ケイケン	女	"	"
張 天宇	チョウ テンウ	男	"	"
郭 婉琴	カク エンキン	女	"	"
馬 曉燕	マ ギョウエン	女	"	"
周 榆涵	シュウ ユカン	女	"	"
胡 小麗	コ ショウレイ	女	"	"
陶 亜榕	トウ アヨウ	女	"	"
馬 志琴	マ シキン	女	"	"
郭 曉珍	カク ギョウチン	女	"	"
賈 悦	カ エツ	女	"	"
賈 倩	カ セン	女	"	"
馬 進霞	マ シンカ	女	"	"
楊 翠萍	ヨウ スイヘイ	女	"	"

全体日程概要

月日	曜日	時間	行動予定	宿泊予定先
8月23日	木	午後	岡山空港 着 岡山市内見学	松江市内
8月24日	金	午前 午後	くりんぴーす見学 島根大学表敬訪問・学生交流	ホストファミリー宅
8月25日	土	終日	ホームステイ	ホストファミリー宅
8月26日	日	終日	ホームステイ	ホストファミリー宅
8月27日	月	午前 午後	(移動:松江市⇒浜田市) 島根県立大学表敬訪問 浜田市表敬訪問 島根県立大学の学生・留学生との交流 (昼ヶ浦・ゆうひパーク・夕食懇談会)	県立大学交流センター(浜田市)
8月28日	火	終日	(移動:浜田市⇒出雲市) 島根県内視察(出雲大社・神話博ほか)	松江市内
8月29日	水	午前 午後	松江市長表敬訪問 島根県庁表敬訪問	松江市内
8月30日	木	午前	(移動:松江市⇒岡山県) 岡山空港 発	

平成24年 8月 8日
島根県立大学 浜田キャンパス
アドミッション室 石飛、松崎
〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
(TEL)0855-24-2203 (FAX)0855-23-7352

平成24年度秋学期科目等履修生・聴講生の募集について

平成24年度秋学期科目等履修生及び聴講生を以下のとおり募集します。

科目等履修生は、一般の学生と同じ科目を受講し、試験に合格すると単位を取得することができる制度です。

聴講生は、一般の学生と同じ科目を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

科目等履修生、聴講生のどちらも受講したい科目を1つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間

平成24年10月1日（月）～平成25年2月28日（木）

2. 募集人員

【科目等履修生】各科目とも5名程度

【聴講生】各科目とも10名程度

3. 出願資格

高等学校を卒業した者、又は本学において高等学校卒業程度の学力を有すると認められた者。

4. 出願期間

平成24年8月17日（金）～平成24年8月24日（金）必着

※申込方法等の詳細については別添「科目等履修生・聴講生募集のご案内」をご覧ください。

5. 問い合わせ先

島根県立大学浜田キャンパス アドミッション室

TEL 0855-24-2203 FAX 0855-23-7352 E-mail ac@u-shimane.ac.jp

※出雲キャンパスにおいても募集予定です。詳しくはHPをご覧ください。

平成 24 年 8 月 8 日
 島根県立大学松江キャンパス
 教務学生課
 担当：吾郷，河瀬
 電話：0852-20-0216

島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)
 平成 24 年度後期科目等履修生・聴講生の募集について

平成 24 年度後期科目等履修生及び聴講生を以下のとおり募集します。

科目等履修生は、一般の学生と同じ講義を受講し、履修科目の試験に合格すると単位を取得できる制度です。

聴講生は、一般の学生と同じ講義を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

科目等履修生・聴講生の方は、受講したい科目を 1 つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間 平成 24 年 10 月 1 日（月）～平成 25 年 3 月 31 日（日）

2. 募集人員 各科目若干名

3. 応募資格 次のいずれかに該当する者

【科目等履修生】

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

【聴講生】

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 高等学校卒業程度の学力を有する者

4. 出願期間 平成 24 年 8 月 20 日（月）～平成 24 年 8 月 24 日（金）必着

5. 応募方法 募集案内をお取り寄せのうえ、出願方法に従い応募してください。
 (募集案内請求先)

〒690-0044 島根県松江市浜乃木 7-24-2

島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

TEL：0852-20-0216

※本学ホームページからも取得可能です。

お知らせ「平成 24 年度後期科目等履修生・聴講生の募集」からお入りください。

URL：http://matsuec.u-shimane.ac.jp/

6. 問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150

電子メール：gakumu@matsuec.u-shimane.ac.jp

7. 過去の履修生・聴講生の入学状況

	科目等履修生		聴講生	
	前期	後期	前期	後期
平成 21 年度	0 名	0 名	4 名	4 名
平成 22 年度	0 名	0 名	3 名	3 名
平成 23 年度	2 名	2 名	0 名	2 名
平成 24 年度	0 名		0 名	